

# 社会科学学習指導案

## ■学びの地図

1 時間目

北海道・東北地方が米作りが盛んなわけを予想しよう

北海道米の「ゆめぴりか」を調べて、まちの人にしょうかいしよう

どうしておいしいのだろうか？

2 時間目

米がたくさんとれるところはどんなところだろうか

3・4 時間目

米はどのようにできるのか調べよう

5 時間目

新しい米づくりについて調べよう

6 時間目

農家の人たちのなやみについて知ろう

7 時間目

ゆめぴりかにかかわっている人は、どんな願いがあるのだろうか

どうしてたくさんとれるのだろうか？

8・9 時間目

ゆめぴりかのよさをチラシにまとめよう

10 時間目

こめしんさんにチラシをしょうかいしよう

# 社会科学習指導案

日 時 平成 26 年 7 月 7 日(月)

児 童 ○○小学校 第 5 学年

指導者 釧路教育研究所 研究部

1. 単元名 農業のさかんな地域をたずねて

2. 単元について

(1) 教材観

本単元にかかわる学習指導要領の主な目標及び内容(抜粋)は、次の通りである。

目標

(2) 我が国の産業の様子、産業と国民生活との関連について理解できるようにし、我が国の産業の発展や社会の情報化の進展に関心をもつようにする。

(3) 社会的事象を具体的に調査するとともに、地図や地球儀、統計などの各種の基礎的資料を効果的に活用し、社会的事象の意味について考える力、調べたことや考えたことを表現する力を育てるようにする。

内容

(2) 我が国の農業や水産業について、次のことを調査したり地図や地球儀、資料などを活用したりして調べ、それらは国民の食料を確保する重要な役割を果たしていることや自然環境と深いかかわりをもって営まれていることを考えるようにする。

ア 様々な食料生産が国民の食生活を支えていること、食料の中には外国から輸入しているものがあること。

イ 我が国の主な食料生産物の分布や土地利用の特色など

ウ 食料生産に従事している人々の工夫や努力、生産地と消費地を結ぶ運輸などの働き

本単元は、日本の農業が国民の食生活を支えていること、その生産分布や土地利用の特色、従事している人々の工夫や努力を理解し、食料生産の発展に関心をもつことをねらいとしている。ここでは、主食である稲作のさかんな地域をとりあげ、日本の農業について概観する。

米は日本人の主食である。しかし、近年の食の多様化による米の消費量の減少や、作付面積の減少、高齢化や後継者不足など、稲作農家がかかえる課題は少なくない。そのような中で、米づくりに携わる人々は、単に効率よく米を生産しているだけでなく、それぞれの地域の自然条件に働きかけ消費者の好みにあったおいしい米をつくる工夫や努力をしている。

本単元では、北海道産米の「ゆめぴりか」に焦点を当てて学習を進める。北海道産米は、数年前では食味の評価が低かったが、近年は優れた評価を得られるようになった。品種改良や生産の工夫など弛まぬ努力によって、今の地位を築いたのである。その中で、代表的な銘柄として生産されているのが「ゆめぴりか」である。「ゆめぴりか」の生産に携わる人々の工夫や努力、願いを追究することによって、単元の目標を達成できるとともに、自分たちが住む北海道に誇りや愛情をもつことができる学習になると考える。

(2) 児童観

《 省 略 》

### (3) 本研究との関わり(単元構成の工夫)

本単元は、日本の農業が国民の食生活を支えていることを理解させることをねらいとしている。しかし、「米作りのさかんな地域について調べよう。」という課題を設定しても、水田が身近にない釧路地域に住む子どもにとっては、遠い地域のことととらえ、意欲が高まることはない。

そこで、1時間目に北海道産米の過去と現在の食味の評価を提示し、「どうしておいしいお米を作れるようになったのか。」という疑問を抱かせ、次時以降の追究の見通しをもたせる。また、販売者である「こめしん」に協力していただき、「ゆめびりか」のチラシの作成を子どもに依頼していただき、単元末に「ゆめびりか」の魅力を紹介するチラシを作成する(活かす活用)という目的意識をもたせる。この目的意識が追究の原動力になると考える。

また、「学びの地図」は、子どもたちに単元の概観をつかませ、見通しをもって追究できるように常に教室に掲示しておく。ただ、1時間目からの提示では、学びの道筋を教師が事前に作成することとなり、児童の主体的な学習とはならない。そこで、2時間目に「学びの地図」を提示することとする。

### 3. 単元目標

○日本の農業について調べ、食料生産に携わる人々が生産を高めるために工夫や努力をしていることや生産や輸送に関する費用や米の価格に目を向け、日本の農業の現状と課題をとらえることができる。

### 4. 評価規準

社会的事象への 関心・意欲・態度	社会的な思考・判断・表現	観察・資料活用の技能	社会的事象についての 知識・理解
日本の農業の様子に関心をもち、その様子や問題について意欲的に考えるとともに、国民生活を支えている農業の重要性や発展について考えようとしている。	日本の農業の様子や工夫、努力について調べるために学習課題や予想を立てて取り組み、国民生活を支えている農業の重要性や自然環境との深いかかわりについて考え、適切に表現している。	地図や統計などの資料を活用しながら、日本の農業生産の現状と課題を読み取っている。	農業が国民の食生活を支えており、農産物の自給率を上げることが大切であることをとらえるとともに、生産地と消費地を結ぶ運輸などはたらきについて理解している。

5. 単元計画

1 単位時間の課題

単元を通した課題

時間	単位時間の目標	主な学習活動	■評価規準 □評価方法
1	<p><input checked="" type="checkbox"/> どうして北海道・東北地方は米作りがさかんなのか予想しよう</p> <p>・北海道が主要な米の生産地であることを知るとともに、米作りがさかんな理由を予想し、単元の学習課題をたてることができる。</p>	<p>・北海道や東北地方が米の主要な産地であることを資料からとらえ、その理由を予想する。</p>	<p>■北海道が米作りがさかんな理由を推論し、単元の学習課題をたてている。(思)</p> <p>□ノート</p>
	<p><input checked="" type="checkbox"/> 北海道米の「ゆめぴりか」を調べて、まちの人にしようかいしよう</p>		
2	<p><input type="checkbox"/> 米がたくさんとれるところはどんなところだろう</p> <p>・旭川市の様子を写真や地図、グラフなどで調べ、土地や気候の特色が米作りに適した自然条件であることをとらえることができる。</p>	<p>・旭川市の写真や気候のグラフから、米作りに適した条件をとらえる。</p>	<p>■写真やグラフから、田への土地利用の多さや、川や山などの適した自然条件が備わっていることを読み取っている。(技)</p> <p>□ノート</p>
3	<p><input type="checkbox"/> 米はどのようにできるのか調べよう</p>		<p>■農家の人たちが、米作りでどのような仕事をしているのかを理解している。(知)</p> <p>■稲の成長の条件や農家の人たちの工夫や努力に気づき表現している。(思)</p> <p>□ノート</p>
4	<p>・稲作農家の1年間の仕事について調べ、米作りにおける工夫や努力についてとらえることができる。</p>	<p>・米暦から1年を通した農家の営みをとらえる。</p>	
5	<p><input type="checkbox"/> 新しい米づくりについて調べよう</p> <p>・稲作の生産性向上に向けた農家の人たちの工夫や努力についてとらえることができる。</p>	<p>・農業の機械化や品種改良などの生産性の向上に向けた取り組みについて資料を通してとらえる。</p>	<p>■米の生産量が向上した理由を米作りの工夫や努力とかかわらせて予想し、表現している。(思)</p> <p>□ノート</p>

6	<p>農家の人たちのなやみについて知ろう</p> <p>・グラフを読み取り，稲作農家の悩みや問題について理解することができる。</p>	<p>・農業生産者の推移や耕地利用の変化から農業の現状についてとらえる。</p>	<p>■グラフから生産者の減少などの農業の課題を読み取っている。(技)</p> <p>■生産者の減少や食の多様化など，農家の抱える問題や取り組みについて理解している。(理)</p> <p>□ノート</p>
7	<p>ゆめぴりかにかかわっている人は，どんな願いがあるのだろう</p> <p>・農家の人々の喜びや米作りにかける思いについてとらえることができる。</p>	<p>・米作りに励む人たちの思いや願いを調べ，農業の大切さについてとらえる。</p>	<p>■稲作農家の人たちの思いや願いから米作りが自分たちの生活に深くかかわっていることに気づき，表現している。(思)</p> <p>□ノート</p>
8 9	<p>ゆめぴりかのよさをチラシにまとめよう</p> <p>・ゆめぴりかの紹介を通して，稲作農家の営みや自分の生活との関連についてまとめることができる。</p>	<p>・前時までに学習したゆめぴりかにかかわる農家の人たちの取り組みや思いについてまとめる。</p>	<p>■米作りのよさや農家の人たちの営みに対して意欲的にまとめている。(関)</p> <p>□ノート</p>
10	<p>こめしんさんにチラシをしょうかいしよう</p> <p>・自分たちが学習した内容について，理解してもらえるように伝えることができる。</p>	<p>・グループでまとめたチラシをこめしんさんに紹介する。</p>	<p>■学習した内容を絵や図を用いて，わかりやすく伝えようとしている。(関)</p> <p>□ノート</p>

## 5. 本時の学習について

### (1) 本時の目標

- ・北海道が主要な米の生産地であることを知るとともに，米作りがさかんな理由を推論し，単元の学習課題をたてることができる。(思考・判断・表現)

### (2) 本研究との関わり(学習展開の工夫)

本時の思考する姿は「推論」を設定した。推論とは、「学習問題やめあてを生活・学習経験の事実を基に推し量る思考」である。(釧研紀要 67 集) 北海道が稲作がさかんな理由について推論する。

本時は，単元を通した課題をつかみ，次時以降の学習の見通しをもつことを大きなねらいとしている。しかし，何の手がかりもなしに北海道が稲作がさかんな理由について推論するのは児童にとっては大変難しいものである。そこで，本時の学習では，「米がたくさんとれる理由」や「おいしい米を作ることができる理由」について資料などをもとに時間をかけて考えていく。そのことにより，授業後半の推論する場面では，一人一人が稲作がさかんな理由について推論し，学習課題をたてることができると考える。

(3) 本時の展開 (1/10)

学習過程	学習活動	教師の支援・評価
<p>気 付 く</p> <p>考 え る</p> <p>納 得 す る</p>	<p>■北海道や東北地方が米作りがさかんな地域であるということをつかみ、本時の課題について把握する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・47都道府県でお米がとれるんだ。</li> <li>・北海道や東北がたくさんとれるんだ。</li> </ul> <p>どうして北海道・東北地方は米作りがさかんなのか予想しよう</p> <p>■北海道や東北がたくさん米がとれる理由について予想する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・北海道や東北は寒い地域だからかな。</li> <li>・きっと土地が広いからだ。</li> <li>・地図を見ると川が多いな。</li> </ul> <p>■北海道米がおいしくなった理由について予想する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・品種改良があったからだ。</li> <li>・作り方を変えたのかな。</li> <li>・一生懸命手をかけたから。</li> </ul> <p>■単元の学習課題をつかむ。</p> <p>北海道米の「ゆめぴりか」を調べて、まちの人にしようかいしよう</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・こめしんさんに張るチラシをつくるのか。</li> <li>・ゆめぴりかについて勉強しなくちゃいけないな。</li> </ul> <p>■次時以降学習する学習課題をたてる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・北海道が米作りがさかんな理由は、涼しい気候のせいだと思う。だから、米を作っている地域の気候について学習していきたい。</li> <li>・北海道が米作りがさかんな理由は、農家の方ががんばっているからだと思う。だから、お米を作っている人がどんなことをしているのかについて学習していきたい。</li> </ul>	<p>●様々な地域で自然条件に適した営みがなされていることを写真を用いて伝える。</p> <p>●教科書の地図を用いて北海道や東北地方がさかんにおこなわれていることをつかむ。</p> <p>●地図帳を開いて地形や土地利用をとらえさせる。</p> <p>●食味ランキングを伝え、北海道米の評価が高まったことをつかませる。</p> <p>●ビデオレターでゆめぴりかを紹介するチラシの依頼をしていただく。</p> <p>●学習課題をたてる際の参考となるような板書とする。</p> <p>●児童が学習課題を書きやすいよう書き方の型を示す。</p> <p>&lt;評価&gt; 北海道が米作りがさかんな理由を推論し、単元の学習課題をたてている。(思)</p>